

新型

高規格救急自動車★飯南消防署に配備

飯南消防署の高規格救急自動車の更新に伴い、新型高規格救急自動車（事業費 2千752万円）を配備しました。この救急車は旧車両に比べ、救急救命士などが処置を効率的に行えるよう、広い室内空間を有するとともに、各種資器材の配置を使用しやすいように



【車内処置室】



【飯南救急1号車】

見直し、最先端の救急医療資器材を積載しました。

この車両は、緊急消防援助隊の登録車両であり、大規模、特殊災害等が発生した場合、全国各地の被災地へ出動する車両です。

電気自動車「e-NV200」貸与式

日産自動車株式会社が実施する「EVをもっと身近に！プロジェクト／電気自動車活用事例創発事業」の一環として電気自動車「e-NV200」1台が雲南市を通じ、雲南消防本部に無償貸与されました。

この事業は、国及び自治体の支援により電気自動車の充電インフラ整備が加速度的に進む今、日産自動車株式会社が電気自動車の更なる普及を目指して、3年間無償貸与するものです。

当消防本部においては、この電気自動車の蓄電池から供給されるAC100Vを利用し、屋外で防災ビデオを上映するなどの防災広報活動、災害現場における照明器具、消防無線などの電源確保に活用します。



電気自動車「e-NV200」



島根日産自動車（株）
藤原聡専務代表取締役

雲南市長 速水雄一
（雲南広域連合 広域連合長）